

2020（令和2）年度 懇談会

富士吉田市立看護専門学校



本校は、学則 32 条に基づき教育の充実を図り学校の目的及び社会的使命を達成するため学校における教育活動の状況について自ら点検及び評価しています。これに基づき学校評価の一環として懇談会を開催しています。その結果を以下のとおりに報告します。

日時：2021（令和3）年2月2日（火）14：43～16：05

場所：講堂・インターネット会議システム使用

参加者：教職員 12 名、学生 110 名



懇談会のプログラム

- ① はじめのことば（委員）
- ② 懇談会の目的・方法の確認（委員）
- ③ 調査結果をふまえた意見交換
- ④ より良い学校にするための学校の取り組みについて・各科担当者からの説明・提案
（庶務課課長、看護科科长、実習調整者）
より良い学校にするための学生の取り組みについて（自治会・各学年代表からの意見・質問）
- ⑤ 副校長挨拶
- ⑥ おわりのことば（委員）

懇談会での意見交換

項目	意見等
駐車場について	学生側：駐車場が狭く、4.5月頃事故が多かった。広くしてほしい。荒い運転をする人に注意してほしい。除雪後は駐車スペースが狭くなり困る。 学校側：学生の増加に伴い、体育館裏側の利用を検討している。除雪で駐車できない場合に限り、玄関前の駐車を許可していきたい。冬季のタイヤの交換時期など庶務課でお知らせするが、運転の仕方などは、教職員でなく、学生一人一人が注意してほしい。
課題提示及び提出時期について	学生側：課題に関して、教員間で調整してほしい。学生に提出期日を問われても、先生方も忙しいと思い、意見が言いにくい。学内学習時間がある時に、課題などがあると時間が有効に使える。 教員側：教員間でも調整するが、各学生の進行状況もあると考え、問っている。意見を言わないと、皆さんの意思も尊重されない状況になってしまう。 課題は科目の進度を見て提示している。今後は、学内学習時間を使い、学習が計画的に進むよう、調整していきたい。 学生側：計画を立てたり、調整することも自分の力になる。皆で相談しながら提案していきたい。
異学年の交流会について	学生側：先輩を前にし、緊張するが、技術など細かく教われてよかった。アイスブレイクなど、3年次が忙しく準備ができないこともあった。各学年で調整し、実施内容を考えたい。交流の初期は、異学年間の調整協力を教員にもお願いしたい。 学校側：技術練習時の交流が多い。今後は、病態学・看護学などの知識や学習方法などについても交流していきたい。また、5限の学習時間を使って交流時間の確保もしていきたい。

*懇談会を通して、一人一人が「自分が学校のために何ができるか」「こうすれば、もっと学校が良くなるのではないか」などを考えていくことが必要であり、今後も教職員と学生間のより良い信頼関係を構築していきたい。